

光電子工業技術の新事業

浜松市 補助対象に13社

浜松市は十一日、オープンマを発表した。申請のトロンクス技術(光電子工業技術)に関する新たな事業への補助事業として、対象とする企業とテ

ーマを發表した。申請のあった市内十九社の中から、アステック開発(西区村櫛町)の「電磁波測定システムおよび微小磁界プローブの開発」など、十三社の各一テーマを選

んだ。

補助は本年度の単年度事業が対象。各社への交付額は三百七十万円から千八百十万円で、計九千五百万円。

そのほかの企業、テーマは次の通り。
▽アツミ電気(北区新都田)屋外熱線センサの開発
▽アルファプロジェクト

クト(中区上島)小型・可搬の原子間力顕微鏡の開発
▽イメージテック(中区佐鳴台)馬蹄形X線ラインセンサカメラシステムの開発
▽エム・アイ・エル浜松事業所(中区和地山)二百万画素カメラ入力用人工知能搭載型画像処理装置の事業化
▽オーム電機(北区細江町)一次元TOFによる

気中飛翔粒子の計測
▽シナジーオプトシステムズ(西区村櫛町)光デスタの開発
▽ソフトワークス(中区高丘北)ワイヤーボンディング接合強度の非接触検査装置の開発
▽デジタルセンセーション(中区城北)接客する映像ウェブ広告コンテンツの開発
▽パイフォトリクス(西区呉松町)大面積高輝度高指向性照明装置の開発
▽パパラボ(中区幸)色高忠実病理印刷システムの開発
▽アルツクマン・ラボ(中区和地山)高速カラム巡回型AD変換器を用いた高速度、低ノイズCMOSイメージセンサ
▽ホト・アグリ(西区呉松町)農産物の生産量増大および機能成分増強のための補光システムの開発